

わたしの人生の最終段階の事前指示書（人生会議資料）【氏

名：_____】

私が認知症になり、それが徐々に進行し、やがて人生の最終段階を迎えたときには、おそらく自分の置かれている状況を的確に認識することや治療・延命医療に対する意思表示は困難になっているものと考えられます。

そのため、判断能力が正常に機能している今のうちに、人生の最終段階における治療・延命医療に対する私のメッセージを作成し、時々その意思を確認することにより、自分の尊厳の保持の準備をしておくことにしました。

「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」に「政府は、地域包括ケアシステムの構築に当たっては、個人の尊厳が重んじられ、患者の意思がより尊重され、人生の最終段階を穏やかに過ごすことができる環境の整備を行うよう努める」という規定があるので、患者の意思をあらかじめ明確にしておくことが重要であると考えました。

国は、人生の最終段階における医療・ケアについて本人、家族、医療・ケアチームが語り合う“アドバンス・ケア・プランニング”（ACP）の愛称を「人生会議」と名付けました。私の人生の最終段階の人生会議の資料をあらかじめ用意しましたので、ご活用ください。

私の人生の最終段階の医療・ケアに携わる方々におかれましては、以下に記した私のメッセージを最大限尊重していただくことを切にお願いいたします。

| | |
|------------------|---|
| I 作成年月日 | 平成 年 月 日 |
| II 死生観など | <p>【○で囲んでいる項目が私の想いです。】</p> <ol style="list-style-type: none">1 老衰期になって口から食べられなくなったら、自然の摂理にしたがって、穏やかに人生の最期を迎えることを当然のこととして受け止めている。2 老衰で亡くなるときには、身軽にして旅立つために、口から食べられなくなり、栄養不良・脱水状態になって息を引き取ることを知っている。3 死期が迫っているときに、生理的处理能力を超えた輸液をすることは、むくみや唾液過多による吸引など苦痛の原因となることを知っている。4 1～3の覚悟ができていたので、「家や介護施設など生活の場での看取り」を希望する。5 少しでも長生きすることが自分の価値観であるので、最大限の延命処置を講ずることを希望する。 <p>事由記載欄</p> |
| III 痛みや苦痛への対処の希望 | <p>【○で囲んでいる項目が私の想いです。】</p> <ol style="list-style-type: none">1 後期高齢期になってから、ガンなどにより強い痛みや苦痛を伴う病気になった場合、手術や副作用の強い治療は避け、痛みや苦痛を取り除いてくれるだけでよい。2 痛みや苦痛を取り除くために鎮静剤を使ってもよい。3 痛みや苦痛を取り除くのは当然として、年齢がいくつであっても、最大限の積極的治療を行ってほしい。 <p>事由記載欄</p> |



| | | |
|----------------------------------|---|-------|
| | | |
| IV 死期が迫っており回復困難な状態になったと思われるときの希望 | 【○で囲んでいる項目が私の想いです。】 1-A 人工透析の開始を希望する 1-B 人工透析の開始を希望しない。 2-A 人工呼吸器装着を希望する。 2-B 人工呼吸器の装着を希望しない。 3-A 気管切開を希望する。 3-B 気管切開を希望しない。 4-A 心臓マッサージなどの心肺蘇生を希望する。 4-B 心臓マッサージなどの心肺蘇生を希望しない 5-A 胃ろうによる人工的栄養補給を希望する 5-B 胃ろうによる人工的栄養補給を希望しない 6-A 鼻チューブによる人工的栄養補給を希望する。 6-B 鼻チューブによる人工的栄養補給を希望しない。 7-A 点滴による人工的水分補給を希望する 7-B 点滴による人工的水分補給を希望しない。 <table border="1" data-bbox="619 869 762 913"><tr><td>事由記載欄</td></tr></table> | 事由記載欄 |
| 事由記載欄 | | |
| V 代理人（代弁者）・続柄 | 代理人： (本人からのメッセージ) | |

本人自筆捺印
住所

氏名

Ⓜ

署名日：

代理人（代弁者）自筆捺印
住所

氏名

Ⓜ（続柄： ）署名日：

事前指示内容に変更がないことを再確認した年月日は以下のとおりです。